

道 徳 学 習 指 導 案

廿日市市立宮園小学校
指導者 教諭 向井 知瑞子

- 1 日 時 平成 27 年 12 月 17 日(木) 第 3 校時
- 2 学 年 第 3 学年 22 名
- 3 主題名 本当の親切とは 【B 親切, 思いやり】
- 4 ねらい おばあさんに声をかけた方がいいかどうか困っているときにどうすればよいかを考えることを通して, 相手のことを思いやり, 親切にしようとする道徳的判断力を育てる。
- 5 資料名 「心と心のあく手」(一部抜粋)【出典:「わたしたちの道徳 小学校三・四年」文部科学省】

6 主題設定の理由

本主題は, 内容項目の B「主として人との関わりに関すること」の(6)「相手のことを思いやり, 親切にすること。」に当たる。この段階においては, 学校生活を中心として友だち同士の交流が活発になるとともに, 活動範囲も広がってくる。様々な人々との関わりが次第に増えていく中で, 相手の気持ちを察したり, 相手の気持ちをより深く理解したりすることができるようになる。一方, ともすると他の人々の考え方や感じ方が自分の考え方や感じ方と同様であると思いがちになる。相手の置かれている状況, 困っていること, 大変な思いをしていること, 悲しい気持ちでいることなどを自分のこととして想像することによって相手のことを考え, 親切的な行為を自ら進んで行うことができるようにしていくことが大切であると考え, 本主題を設定した。

本学級の児童は,

〈略〉

本資料は, 学校の帰り道で荷物を持って重そうに歩いているおばあさんに出会い, 「荷物, 持ちます。」と声をかけたが, 断られた主人公の僕が, おばあさんは病気で体が不自由になっていたのを, 歩く練習をして, 治ってきたことを知り, 再びおばあさんに会ったときに, 声をかけた方がいいかどうか困るという内容である。おばあさんのことを心配して声をかけた方がいいかどうか困る僕の姿を通して, 相手のことを思いやり, 親切にすることの意味について考えることができる資料である。

指導に当たっては, 導入において, 「親切にするとどのような行動をすることか。」を考えることで, 親切という道徳的価値に係る問題意識をもたせる。展開においては, 資料の道徳的問題に気付かせ, 僕はどうすればよいかを考えさせる。僕の立場で考えることで資料の中の道徳的問題を自分のこととして考えさせる。そのとき, 理由も考えることで, どのように考えてそうするのかという「どのように考えて」に焦点を当て, 道徳的価値について考えさせたい。その後, 自分の行為の結果がどうなるかという因果性や自分がされてもよいかという可逆性を問うことで, どのようにすることがより望ましいかを考えさせる。さらに, 資料で学んだ考え方を応用して類題を考えさせることで児童の道徳的判断力を育てていきたい。終末においては, 親切についてどのように考えるようになったかを一人一人がまとめ, 発表し合い, 児童自身が振り返ることで, 道徳的価値を自分との関わりで捉えさせ, 理解を深めたい。

7 学習指導過程

	学習活動	主な発問と予想される児童の心の動き【◎中心発問】	指導上の留意点
導入	1 道徳的価値について考える。	○親切とはどのような行動をすることだと思いますか。 ・困っていたら、助けてあげること。 ・手伝ってあげること。	○親切について問題意識をもたせるために親切とはどのような行動をとることかを考えさせる。
展開前半	2 資料を読んで、僕はどうすればよいかを考え、話し合う。	○僕が思わず、「荷物、持ちます。」と声をかけたのはどんな気持ちからだったのでしょうか。 ・おばあさんがとても苦しそうだから。 ・おばあさんが石につまずいて転びそうになったから。 ・おばあさんのことが気になったから。 ○おばあさんは本当はどんなことを思っているでしょう。 ・歩けるようになりたい。 ・もっと歩く練習をしよう。 ○僕が困っていることは何でしょうか。 ・おばあさんに声をかけたらまた断られるだろうか。でも、このままでいいのだろうか。 ◎おばあさんに声をかけたらまた断られるだろうか。でも、このままでいいのだろうかと困っているとき、僕はどうしたらよいと思いますか。それは、なぜですか。 声をかけて聞いてみる。 ・このままほっておいて、おばあさんに何かあったらいけないから。 ・聞いてみないと断られるかどうかわからないから。 ・このまま帰ったらおばあさんのことがずっと心配になるから。 声をかけない。 ・おばあさんは、歩く練習をしているから。 ・前に声をかけて断られたから。 ・声をかけて断られたらいやだから。 ○おばあさんの本当の気持ちがわからないときにどうすればよいと思いますか。 ・聞いてみる。 ・自分だったらどう思うか考える。 ○その結果、どうなると思いますか。(因果性を問う発問) 声をかけて聞いてみる。 ・断られるかもしれない。 ・喜ばれるかもしれない。	○相手のことを思いやっ て行動したことに気付 かせるために声をかけ た僕の気持ちを考えさ せる。 ○相手の立場に立って考 えることの大切さに気 付かせるためにおばあ さんの思いを考えさせ る。 ○道徳的問題に気付かせ るために困っているこ とを考えさせる。 ○道徳的問題を自分のこ ととして考えさせるた めに僕の立場で考えさ せる。 ○自分の大切にしたい考 えを明確にさせるため にどうすればよいかと いう行動よりもその理 由を大事にし、互いの 意見を聞き合わせる。 ○声をかけるのも声をか けないのもおばあさん のことを思っ ての行動 だということに気付か せるために理由に目を 向けさせる。 ○本当の親切について気 付かせるために本当の 気持ちが分からないと きにどうすればよいか を考えさせる。 ○自分がしたことが自分 だけでなく他者にどの ような影響を与えるの かに気付かせるために 結果を考えさせる。

		声をかけない。 ・おばあさんは歩く練習ができる。 ・ずっとおばあさんのことが気になる。 ○もし、あなたがおばあさんなら、そうされてもいいですか。 (可逆性を問う発問) 声をかけて聞いてみる。 ・歩く練習をしたければ断ればいいからいい。 ・何かしてほしいことがあれば頼めるからいい。 声をかけない。 ・練習ができるからいい。 ・もし本当に困っていたら助けてほしいからいやだ。	○相手の思いに気付かせるために相手の立場で考えさせる。
展 開 後 半	3 類題でどうすればよいかを考え、話し合う。	(類題) 算数の時間にコンパスで模様を描いているとき、なかなか描けなくて、描けるようになろうと練習している友だちがいます。チャイムが鳴って休み時間になってもまだ描けていません。その友だちと休み時間に一緒に遊ぶ約束をしていました。あなたならどうしますか。それはなぜですか。 教える。 ・描けなくて困っているから。 手伝う。 ・なかなか描けないから。 応援する。 ・できるまで頑張ろうとしているから。 どうしてほしいか聞く。 ・聞いてみないとわからないから。	○よりよい判断ができるようにするために資料で学んだ考え方を応用して類題を考えさせる。
終 末	4 導入で考えた道徳的価値について再び考える。	○今日の授業でどんなことを考えましたか。 ・相手のことを思うことが大切だ。 ・相手がしてほしいと思うことは何かを考えたい。	○親切について考えさせる。

8 評価について

【評価の観点】相手のことを思いやり、親切にしようとする道徳的判断力が高まったか。

【評価の方法】ワークシートに「親切にすることのよさ」「相手のこと」について考えた記述があるか。

9 板書計画

十二月十七日 心と心のあく手

親切とは？

- ・こまっていたら、たすけてあげる。
- ・手伝ってあげる。

「荷物、持ちます。」

場面絵

「びようきで体が不自由になつていたのを歩く練習をしてあそこまでなおつてきたそうよ。」

「ありがとね。でも、家まですぐだからいいですよ。」

場面絵

・くるしそう。
・転びそうになった。
・気になる。

おばあさんの本当の気持ち

- ・歩けるようになりたい。
- ・もつと歩く練習をしよう。

おばあさんは、不自由な足を動かして坂を上がつていた。
この前より足どりが重いような気がした。

声をかければまたことわられるだろうか。
でも、このままでいいのだろうか。

◎ぼくはどうしたらいいか。

聞いてみる。
自分だったらと考える。

自分なら	結果	なぜ	
よい ・ことわればいい。 ・たのめる。	・ことわられるかも。 ・よろこばれるかも。	・何かあったら。 ・わからない。 ・しんばい。	声をかけて聞いてみる
よい ・いや練習ができる。 ・たすけてほしい。	・歩く練習ができる。 ・ずっと気になる。	・歩く練習をしている。 ・ことわられた。 ・ことわられたらいや。	声をかけない

○算数の時間にコンパスでもようをかいいているとき、なかなかかかなくって休み時間になつてもまだかけていません。その友だちと休み時間にいつしよに遊ぶやくそくをしていました。あなたならどうしますか。

教える。

- ・こまっている。

手つだう。

- ・なかなかかかない。

おうえんする。

- ・がんばろうとしている。

- ・どうしてほしいか聞く。
- ・聞かないと分からない。